

事業概要シート

事務事業コード	事務事業名称	事業区分	所属コード	担当課
101010007	敬老祝品贈呈	一般	4900	高齢介護課

事業開始年度	平成7年度
--------	-------

◆事業の性質分類

<input type="radio"/>	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	<input type="radio"/>	④施設等の維持管理的な事務事業
<input type="radio"/>	②整備関係事務事業	<input type="radio"/>	⑤行政の内部管理事務事業
<input type="radio"/>	③施設等の建設事務事業	<input type="radio"/>	⑥経常的な事務事業

【注】公の施設の維持管理的な事業で指定管理者等の導入可能性があるものは①、④の両方が該当するため両方に○印を付ける。

◆事業の背景

市民ニーズ・地域課題	関係法令、関係計画等
市内の高齢者に対する長寿への敬愛を表すためのもの。	長岡京市長寿記念品贈呈要綱

◆事業の目的

【事業の対象】・利益を受ける人 ・最終的に影響を及ぼすことを予定している人、もの等	【事業の目指す成果】・左記の対象がどのような状態になることを目指していますか ・成果として具体的に何か等
平成21年度対象者(H21. 6.30現在) 最高齢者 男女各1名 新百歳 10名 米寿 179名	高齢者の長寿を祝し、市内の高齢者に対して敬愛を表す。

◆事業費の推移 (単位:円)

			H19実績	H20実績	H21見込み	
収入	使用料・手数料					
	国支出金(補助率)					
	府支出金(補助率)					
	その他()					
	合計		0	0	0	
支出	人件費(概算)	正規職員	従事人員(人)	0.03	0.03	0.03
			人件費	240000	240000	240000
		嘱託・再任用職員	従事人員(人)			
			人件費			
	事業費(予算・決算)		728,070	803,113	842,000	
合計		968,070	1,043,113	1,082,000		
収支	一般財源充当額		968,070	1,043,113	1,082,000	
	対象者あたり一般財源充当額		(母数:175人) 5,532/人	(母数:198人) 5,268/人	(母数:191人) 5,665/人	

事業費の詳細	平成21年度対象者 最高齢者 男女各1名 新百歳 13名 米寿 200名	7,500円×2名×1.05=12,750円 6,000円×13名×1.05=81,900円 3,500円×200名×1.05=735,000円
--------	-----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

◆事業の内容	
事業の手法	事業の内容
○ 直営	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回(5月初旬・8月1日・9月初め)に百歳以上、新百歳、米寿該当者の名簿作成。 ・祝品の選定を7月に行い、発注する。(府と重複しないように行う。) ・確定した発注を行い、「祝い状」、市の包装紙、配送を行う米寿該当者の名簿を業者に渡す。 ・最高齢者、新百歳に祝品を届けるため、該当者に日程を通知する。 ・配送を行った米寿該当者の内、届かなかった分の調査を行い再送付する。
全部委託	
一部委託	
指定管理	
その他	

◆事業の類似			
市における類似事業について	なし	近隣市町における類似事業について	向日市(米寿 記念品) 大山崎町賀寿祝金(米寿 20,000円)

◆過去の経過	
これまでの課題	左記の課題への、これまでの対応
米寿の祝品は、より多くの人たちに喜んで頂ける物を選び、業者より直接送付する。賛否両論であるが、否定的な意見が多い。	祝い品以外の方法等を検討したが、現状のままである。

◆現状の分析と課題	
①【必要性】・現在も市民に必要とされる事業か ・環境変化により事業目的は薄れてないか ・廃止した場合の影響は何か	②【市関与の妥当性】・市が行うべき事業か ・類似事業を行う他団体はないか ・市が行わない場合の影響は何か
米寿のみ廃止しても最高齢者・新百歳の実施は継続する。 市として高齢者に対する敬愛の念を表すことができる。	京都府より、米寿の祝品あり。
③【手法の適正】・現在の手法は最も適正なものであるか ・手法を変更する可能性はないか ・変更する場合の課題は何か	④【その他の課題】・現在の内容で目的は果たせるか ・経費や時間等に無駄はないか 等
なし	なし

◆今後の方向性と課題への対応	
方向性	【方向性の理由と想定される課題への対応】
<input type="checkbox"/> 継続	最高齢者(男女)・新百歳は、現状のまま贈呈し、長寿に対する敬愛の態度を広めていく。
<input type="checkbox"/> 拡大	
<input type="checkbox"/> 縮小	
<input type="checkbox"/> 統合	
<input type="checkbox"/> 外部委託	
○ 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

所属長コメント(事業の展望)

今後、長寿になる中で、最高齢者(男女)、新百歳の祝い品は継続し、京都府からも贈呈される米寿の祝い品を廃止する方向で考えている。